

**第7回車座トーク（9月6日 雲南市）でいただいたご意見に
対する県の対応 テーマ「島根の林業に期待すること～林業従事者として～」**

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
県外の製材工場は、大量生産して低コスト化を図っているが、県内ではそうした大型製材工場がないのが現状。	良い丸太で良い製品をつくりA材需要の増加を図るため、来年度から新たに、製材工場の新設や規模拡大、木材製品の高品質・高付加価値な製品づくりなど、製材力の強化の取組への支援を行ってまいります。
近年、和室がない家や木材が見えるところがほとんどない家などが多く、木材の利用が減少している。	県産木材の需要拡大を図るため、建築士・工務店と製材工場のグループ化を進めながら、来年度から、県産木材をこれまで以上に使用した住宅建築等への支援を行ってまいります。

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>林業の現場の人手が足りない。下刈りが十分に出来ない、切る山があっても、そこへの道付けや切る人手が足りないという状況がある。林業の業界全体として人材の確保が一番の問題。</p> <p>また、大工、左官などの職人も不足している。</p>	<p>来年度から県立農林大学校林業科の定員を20名に倍増しました。</p> <p>学生の確保に向けては、県内外の高校を訪問し、農林大学校への進学働きかけを行っております。</p> <p>併せて、林業労働力確保支援センターと連携し新規就業者確保のための取組を強化してまいります。</p> <p>また、職人の不足に関しては、県立高等技術校に、大工・左官を育成する1年課程の訓練科を設けています。</p> <p>県内の優れた技能の後継者を育成するため、優れた技を有する職人のもとでの長期体験を通じ、職人の世界への理解を深め、職人を目指してもらうことを目指す「島根の職人育成事業」により、体験に係る経費を支援しております。</p> <p>さらに、職人を目指す若年者の裾野を広げるため、中学生向けにものづくり体験事業を実施するなど、ものづくりの魅力を伝えることにも取り組んでまいります。</p> <p>今後も、島根県技能士会連合会、市町村、ふるさと島根定住財団等と連携し、このような県の取組を県内外で周知してまいります。</p>
製材所が機能するためには、山林からしっかり木が出てきて家が建つ仕組みを確立することが必要。全体が機能しないと成り立っていかないので、木材業全体が盛り上がるようなバックアップをしてほしい。	「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の定着と拡大を図るため、引き続き、原木生産の低コスト化、製材力の強化や県産木材の利用促進等の施策を進めてまいります。

4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただくご意見

※ なし

5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

- ・公共物件は、トップに大手ゼネコンがいて末端の山の方までお金が回りきらない。木材の分離発注など、山の方にお金が返るような施策をしてほしい。